

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|--|
| (整理番号) 075 | 提案機関名 湘南地域県政総合センター |
| 要望問題名 新たな付加価値を含めた木材利用の検討 | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内の森林は全国同様、高齢林分が多く、間伐材が多く搬出されている。これまでは搬出量を増やすことを目的に関連する補助事業を創設して対応してきた結果、年間3万m ³ 程度は搬出されるようになった。しかし、間伐材ということで、建築用に使われる材の割合は少なく、経費と材価の開きが大きい状況である。チップ・パルプ用としての活用が多いが、管内森林組合において簡易製材機で製材したところ、建築用として十分活用できる材があることがわかった。 大綱終了後を見据え、民間が主体となって森林管理に取り組むためには、県内の低質材に付加価値を付け、利用拡大を図ることが急務となっている。木材にどのような付加価値を付けるべきかは木材利用の需要をとらえて進める必要があるが、県の普及指導事業計画で掲げる連携に位置づけ、研究連携課においても木材の活用促進に係る調査や委託に関し、連携やバックアップできる体制を整えるようお願いしたい。 | |
| 解決希望年限 | <input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------------------------|---|--------------------|-------|
| 回答機関名 | 自然環境保全センター | 担当部所 | 研究企画部 |
| 担当者名：増子和敬（担当研究員不在のため課長扱い） | | | |
| 電話番号：046-248-0321 | | FAX番号：046-247-7545 | |
| 対応区分 | <input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | ①、②、④の場合 | | |
| 対応の内容等 | 自然環境保全センターの研究部門では、令和8年度までに取り組む研究課題等を定めた試験研究推進構想を令和5年3月に改定したところですが、要望されている木材利用関係に関するものを研究課題として設定しておらず、担当できる研究員も配置していない状況です。 体制整備には、人員配置や事務分担も関係しますので、木材利用や林業普及指導事業を所管する森林再生課と調整してまいります。 | | |
| 解決予定年限 | <input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |